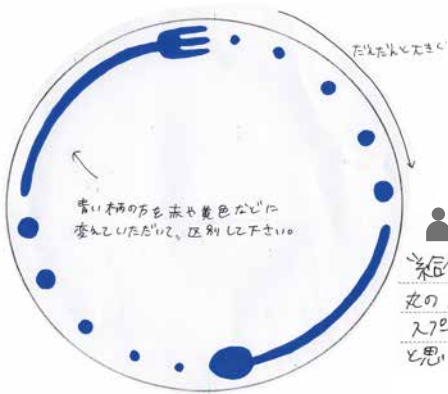




学校で毎日使う給食食器。材質の「高強度磁器」は 1985 年土岐市立陶磁器試験場が日本で初めて開発したものじゃ。現在では全国の学校・病院・官公庁などで広く利用されておるぞ。

土岐市内小中学校・採用

正しく並べられるかね? ご飯は左!
配膳マナーは身に付けるべし。



西陵学校 3年 M・Hさんデザイン
給食というのは、たのし食べる事が大切であるため、
丸の大きさを大小に楽しさを表現しました。お箸、フォーク、
スプーンを反対におくことで、バランスのよいお皿に仕上がった
と思います。このデザインのがめで、給食を楽しんで下さいませ。
うれしいです。

▶ 高強度磁器とは

土岐市開発の極めて強度の高い磁器。
アルミナというファインセラミックス
の材料を調合し、一般磁器の3倍以上
の耐久性を実現した。商標登録済みで、
製品には土岐市のマークが付く。



▶ デザインは土岐市の生徒から

現在市内で採用されている給食食器の
絵柄は、市内の児童生徒1770人の
応募の中から選ばれた。



土岐市内幼稚園・採用

土岐市民のデザインで嬉しいの。
より給食も美味しく感じられるぞ。



泉小、学校 6年 M・Kさんデザイン
土岐市民全員が仲良し、たのしく暮らす
土岐市にしたいので、みんなの手を繋いで
笑っている絵にしました。

▶ 絵付はイングレースで安全

イングレースと呼ばれる絵付技法を
採用しており、絵具の劣化や溶出
のない安全な食器となっている。



90年頃より安全意識の高まりと共に、全国で
プラスチック製や金属製から、高強度磁器の
給食食器に切り替える自治体が増えたのじゃ。
有害物質の心配も無く、絵付も剥げず安心じゃ。

